

令和3年度（2021）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ

# 学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ 学校関係者評価委員会は、令和2年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、ご報告致します。

令和3年8月20日

学校法人穴吹学園  
専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ  
学校関係者評価委員会

## 1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹リハビリテーションカレッジの自己評価結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹リハビリテーションカレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

## 2. 学校関係者評価委員会

(委員)

松本 義人	医療法人社団 西高松脳外科・内科クリニック	理事長
藤井 保貴	一般社団法人 香川県理学療法士会	副会長
樋本 英司	一般社団法人 香川県作業療法士会	理事
青戸 啓二	医療法人社団研宣会 広瀬病院	リハビリテーション部 部長
中川 真人	医療法人社団十仁会 介護老人保健施設 白寿の杜	リハビリ室長
内海 康則	学校法人穴吹学園保護者会 専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ支部会	支部長
亀山 健太	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ同窓会	会長

(学校教職員)

横倉 益弘	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	校長
中内 英樹	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	副校長
植野 英一	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	教務部長
平岡 英樹	専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ	理学療法学科 課長代理

## 3. 学校関係者評価委員会の実施日時

開催日時 令和3年8月6日(金) 19:10~20:00

開催場所 専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ 302・303教室

#### 4. 委員長ならびに副委員長の選出

委員長に青戸氏が立候補者され、副委員長に藤井氏が立候補された。全員一致で委員長 青戸 啓二氏、副委員長 藤井 保貴氏が選任された。

委員 11 名全員の出席があり、委員会の開催は成立することを確認し、議事が進行された。

#### 5. 自己評価結果の説明と報告（自己評価報告書参照）

香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式で作成した「令和 2 年度自己評価報告書」をもとに、「教育理念」、「目的」及び「令和 2 年度の目標と計画」について説明された後、評価項目ごとの「評価結果（総括）」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について説明が行われた。また、各評価項目の自己評価結果と自己評価結果（総括）についても説明され、総括評価が「A」評定であったことが報告された。

「実施できていない項目」は、「5・2・c」（より高度な学習・研究ができるよう大学等との併修または接続が可能な体制等を取っていますか）、「5・9・a」（保護者会の開催等、保護者とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えていますか）、「5・11・c」（卒業生の能力向上のため、研修会等を行っていますか）、「5・11・d」（学校は同窓会との連携を図っていますか）、「10・3・b」（地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等を行っていますか）であり、すべて新型コロナウイルス感染拡大のために活動が中止となり実施できなかったことおよび「5・11・c」については、今年度は、オンラインで開催を予定していると教務部長より説明された。

各評価項目の評定方法は、「香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式」の 4 段階評価基準（「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である）に準じて実施している。

#### 6. 意見交換、質疑応答

「香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式」の評価項目に従い、「教育理念・目的・人材育成像」、「学校運営」、「教育活動」、「学修成果」、「学習支援」、「教育環境」、「学生募集と受入れ」、「財務」、「法令等の遵守」、「社会貢献・地域貢献」、「総括」と「自己評価結果（総括）」の順で意見交換をすすめ、下記の質疑ならびに意見交換が行われた。

- ・ コロナウイルス感染拡大による就職の影響はありましたか？  
⇒ 求人状況について、作業療法学科は 2 倍、理学療法学科は 1.8 倍程度だったが、県内求人は落ち込んできている。また、全国的にみて例年とあまり変わらないとされているが、特に中四国の求人数が下がっているというデータが公開されている。
- ・ 卒業した学生からコロナショックのための経験不足などの相談はありましたか？  
⇒ 理学療法学科では、昨年度は全ての実習を経験できたので相談は入っていない。  
しかしながら、今年度の 3 年生は、2 年次の評価実習、3 年次の臨床実習の半分が学内実習となっているため、次年度に影響がでることを危惧している。

- ・オンライン授業でのサポート状況や工夫された点は何か？  
⇒当初は操作方法などに不慣れな状況であったが、徐々に慣れ比較的スムーズに行うことができた。  
実技はオンラインでは難しいため、対面授業開始時期に移動するなどの対策をとった。
- ・国家試験対策委員会の具体的内容は何か？  
⇒委員会は、副校長、教務部長、学科長、担任で構成。模擬試験の結果などからグループ分けを行い、各進捗状況の確認や対応とその修正などを行っている。
- ・入学者数について学校としてはどう考えているか？  
⇒定員を大きく割れている作業療法学科については、4月より作業療法学科の魅力を伝える動画やインスタグラムで授業内容等をメディア配信している。
- ・スクールカウンセリングはどのような内容か？  
⇒臨床心理学を担当されている外部講師（医学博士・カウンセラー）に、対象者への週1回程度のカウンセリングをお願いしている。また、作業療法学科教員による認知行動療法も導入しており、より難しいケースについては、医療機関の受診を勧めている。

以上